

校長室だより

第15号 令和8年7月17日

江戸川区立瑞江小学校長

牧岡 優美子



水難防止の着衣水泳

水難事故防止の学習として毎年、水泳指導の最終週に「着衣水泳」を行っています。今年度は、4～6年生が実施しました。

もしも、水難事故にあってしまった時には、パニックにならず救助を待つように、入水時の服の重さを体験します。自分だけでなく、友達がおぼれた想定も練習しました。服を身に着けたまま空気を含ませ、空のペットボトル等を使う体験もしました。呼吸しながら救助まで20分間を想定し、ゆっくり浮いたり泳いだりします。服の重さ、泳ぎにくさを実感した子どもたちは「重かった」「20分は長い」「疲れたあ」と言っていました。



トウモロコシの皮むき

昨日の給食最終日に、「とうもろこしご飯」が提供されました。今回は1年2組の子どもたちが皮むきをしてくれました。栄養士さんにやり方を教えてもらい、みんなで協力して、全員分のトウモロコシを1校時でむき終わりました。夏のトウモロコシは甘くて、缶詰とは違って粒が弾け、かむたびに美味しさが広がりました。



プール納めの会

今年度の水泳指導は、今週で終わります。事故なく、各学年の授業が終わりました。プール納めの会では、代表児童の6年生が小学校生活最後の水泳学習を振り返って発表しました。

1学期間ありがとうございました。熱中症に十分注意してよい夏をお過ごしください。

